

# えむじい静岡

静岡県支部ニュース

41

2004.2.3(火)

## 初春・日々是好日

支部長 紅野 泉

皆様には初春をお健やかに迎えることと、お慶び申し上げます。  
また、日頃は皆様にご支援ご協力を戴き厚くお礼申し上げます。

去年は世界では色々の出来事がありました。国内ではテレビ50周年、デジタルテレビ放送も開始され、メディア関係はますます発展しています。

全国友の会では、発足当初から重症筋無力症の難病で苦しむ患者家族の為、声を上げ数多くの人

達と共に患者会発足に向けて、東奔西走し私財を投げ出してご尽力された、武田治子前会長が帰らぬ人となりました。昭和46年10月「病気に苦しむ患者家族」が集まり、互いに励まし病気を克服し、明るい療養生活を送ろう、と友の会を結成。昭和47年国家プロジェクトとして当時厚生省特定疾患研究班が発足。難病対策・調査研究・治療費公費負担制度も開始され、研究班は日夜治療研究にご尽力されていました。当時は死亡率が高く、治療方法も確立されていない比較的人数の少ない疾病が指



二見浦 夫婦岩

定されました。その一つに重症筋無力症も指定されました。その発足間もない筋無力症友の会も、亡き武田前会長の努力と宇尾野国立静岡病院名誉院長のご支援等がなくしては指定されなかったと思います。

その間、現在の治療水準にまで引き上げていただいた、宇尾野国立静岡病院名誉院長を始め歴代特定疾患研究班班長の方々の功績は大きく、現在も多くの先生方を育てていただき、治療研究は進み、協力していただける先生方も多くなりました。

故武田前会長に友の会として何か感謝の意を示すことが出来ないかと想うのは私だけではないと想います。皆様のご意見を静岡県支部にお願ひします。

まだまだ社会復帰できない友は沢山います。多くの難病患者・家族を安心させて、より良い情報交換をする場を作り、難病患者も健常者も明るく暮らせることを祈願いたします。

難病と共生しながら克服することを目指し「日々是好日」新たな一歩を歩み始めようではありませんか。

皆様のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



駿府公園 紅葉山庭園